

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年12月15日
【四半期会計期間】	第63期第1四半期（自平成21年8月1日至平成21年10月31日）
【会社名】	株式会社稲葉製作所
【英訳名】	INABA SEISAKUSHO Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 稲葉 明
【本店の所在の場所】	東京都大田区矢口2丁目5番25号
【電話番号】	03(3759)5181
【事務連絡者氏名】	執行役員 経理部長 江口 勤
【最寄りの連絡場所】	東京都大田区矢口2丁目5番25号
【電話番号】	03(3759)5181
【事務連絡者氏名】	執行役員 経理部長 江口 勤
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第62期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第63期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第62期
会計期間	自平成20年8月1日 至平成20年10月31日	自平成21年8月1日 至平成21年10月31日	自平成20年8月1日 至平成21年7月31日
売上高(千円)	7,244,633	5,946,235	26,478,320
経常損失( ) (千円)	85,580	413,250	587,837
四半期純利益又は四半期(当期)純損失( ) (千円)	66,141	278,891	2,004,151
純資産額(千円)	34,980,870	32,416,805	32,842,212
総資産額(千円)	48,475,387	43,614,581	44,163,017
1株当たり純資産額(円)	1,951.82	1,808.75	1,832.49
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期(当期)純損失金額( ) (円)	3.69	15.56	111.83
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	72.2	74.3	74.4
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	157,839	634,680	852,302
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,345,556	556,402	2,058,563
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	254,430	128,284	429,840
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	11,407,399	7,202,965	8,522,332
従業員数(人)	1,099	1,007	1,097

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第62期第1四半期連結累計(会計)期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第63期第1四半期連結累計(会計)期間及び第62期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 3【関係会社の状況】

当第1四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成21年10月31日現在

従業員数（人）	1,007
---------	-------

- （注）1．平均臨時雇用者数は、臨時雇用者の総数が従業員数の100分の10未満のため、記載を省略しております。  
2．従業員数が当第1四半期連結会計期間において90人減少したのは、主に提出会社の大和工場閉鎖によるものであります。

### (2) 提出会社の状況

平成21年10月31日現在

従業員数（人）	916
---------	-----

- （注）1．平均臨時雇用者数は、臨時雇用者の総数が従業員数の100分の10未満のため、記載を省略しております。  
2．従業員数が当第1四半期会計期間において91人減少したのは、主に大和工場閉鎖によるものであります。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第1四半期連結会計期間における生産実績を部門別に示すと、次のとおりであります。

部門	当第1四半期連結会計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)	前年同四半期比(%)
鋼製物置(千円)	3,876,980	94.1
オフィス家具(千円)	1,204,545	48.3
合計(千円)	5,081,526	76.9

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しております。  
2. 消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注状況

提出会社は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますが、オフィス家具の一部について、OEM先に対し受注生産を行っております。

品目	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
事務用机	726,436	69.7	355,611	125.0
事務用椅子	108,268	46.2	10,479	120.3
その他オフィス家具	75,144	46.9	15,269	117.1
合計	909,849	63.3	381,359	124.5

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しております。  
2. 消費税等は含まれておりません。

#### (3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績を部門別に示すと、次のとおりであります。

部門	当第1四半期連結会計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)	前年同四半期比(%)
鋼製物置(千円)	3,948,027	98.8
オフィス家具(千円)	1,998,208	61.5
合計(千円)	5,946,235	82.1

- (注) 1. 金額に消費税等は含まれておりません。  
2. 前第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結会計期間 (自平成20年8月1日 至平成20年10月31日)		当第1四半期連結会計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
ユアサ商事(株)	1,228,937	17.0	1,274,455	21.4
(株)内田洋行	1,505,149	20.8	663,252	11.2

## 2【事業等のリスク】

当第1四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

## 3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

## 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

### (1) 業績の状況

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、政府による景気対策効果もあって一部業種に回復の兆しが見られるものの、円高、建築着工の停滞など課題は山積しており、設備・雇用の過剰感も続いていることから、景気は二番底に向かうリスクをぬぐいきれない様相を呈しております。

このような経営環境の中で、当社グループの鋼製物置部門におきましては、ガレージシリーズの拡販に注力いたしましたほか、オフィス家具部門におきましては、ワークスタイルを考慮し、環境にも配慮した製品の販促に努めましたが、戸建住宅着工戸数の低迷（鋼製物置部門）、企業の投資抑制による移転需要の大幅な減退と過当競争による価格下落（オフィス家具部門）の影響等により、当第1四半期連結会計期間の売上高は前年同四半期比17.9%減少の5,946百万円、営業損失は496百万円（前年同四半期は165百万円の営業損失）、経常損失は413百万円（前年同四半期は85百万円の経常損失）、四半期純損失は278百万円（前年同四半期は66百万円の四半期純利益）となりました。

部門別の状況は、次のとおりであります。

（部門別売上高）：当第1四半期連結会計期間（自平成21年8月1日至平成21年10月31日）

部門	金額（百万円）	前年同四半期比（％）	構成比（％）
鋼製物置	3,948	98.8	66.4
オフィス家具	1,998	61.5	33.6
合計	5,946	82.1	100.0

### （鋼製物置部門）

3月に発売しました風格とゆとりのあるガレージ「ブローディア」に続き、10月には機種豊富な9年振りの新型ガレージ「ガレーディア」を発売致しました。発売に先立ち、全国各地の51会場で約3,500名の参加者を集め『イナバ物置新製品発表会』を開催致しました。

しかしながら、この効果は第2四半期以降となる見込みであり、景気低迷、所得不安による消費者の買い控えもあって、鋼製物置部門の売上高は、前年同四半期比1.2%減少の3,948百万円となりました。

### （オフィス家具部門）

今後ますます多様化するオフィスのワークスタイルをフレキシブルに展開できる連結型デスク「アルフィス-F」や、シンプルで美しさと使い易さを追求したデスク「マテリア」、パーティション「クオリノ」及び書庫「リベスト」の拡販に注力いたしました。しかしながら、建築着工の低迷や企業収益の悪化によるオフィス移転プロジェクトの延期や中止等から、OEM先からの受注は前連結会計年度に続き大幅に落ち込み、売上高は低位に推移しました。その結果、オフィス家具部門の売上高は、前年同四半期比38.5%減少の1,998百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,319百万円減少して7,202百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における営業活動による資金の使用は、634百万円（前年同四半期比792百万円の支出増）となりました。

これは、減価償却費156百万円、賞与引当金の増加額237百万円等による資金増加要因と、税金等調整前四半期純損失469百万円、売上債権の増加213百万円、事業構造改善費用の支払469百万円等の資金減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における投資活動による資金の使用は、556百万円（前年同四半期比1,901百万円の支出増）となりました。

これは、定期預金の払戻1,000百万円による収入と、定期預金の預入1,500百万円、有形固定資産の取得43百万円等による支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における財務活動による資金の使用は、128百万円（前年同四半期比126百万円の支出減）となりました。

これは、配当金の支払127百万円等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、69百万円であります。なお、当第1四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成21年10月31日)	提出日現在発行数(株) (平成21年12月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	17,922,429	17,922,429	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	17,922,429	17,922,429	-	-

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減 額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成21年8月1日～ 平成21年10月31日	-	17,922,429	-	1,132,048	-	763,500

#### (5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりませ  
ん。



(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成21年7月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成21年10月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,920,300	179,203	-
単元未満株式	普通株式 1,929	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	17,922,429	-	-
総株主の議決権	-	179,203	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が400株(議決権4個)含まれております。

【自己株式等】

平成21年10月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社稲葉製作所	東京都大田区矢口 2丁目5番25号	200	-	200	0.0
計	-	200	-	200	0.0

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年8月	9月	10月
最高(円)	969	965	938
最低(円)	918	920	902

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

## 第5【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第1四半期連結累計期間（平成20年8月1日から平成20年10月31日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成21年8月1日から平成21年10月31日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成21年8月1日から平成21年10月31日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結累計期間（平成20年8月1日から平成20年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第1四半期連結会計期間（平成21年8月1日から平成21年10月31日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成21年8月1日から平成21年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,202,965	15,522,332
受取手形及び売掛金	<sup>2</sup> 6,621,433	6,407,095
有価証券	500,000	-
商品及び製品	1,508,770	1,644,874
仕掛品	181,447	138,920
原材料及び貯蔵品	290,007	298,460
その他	720,630	726,016
貸倒引当金	106,136	102,084
流動資産合計	23,919,119	24,635,616
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,147,782	4,218,937
土地	11,781,179	11,781,179
その他(純額)	820,847	852,559
有形固定資産合計	<sup>1</sup> 16,749,810	<sup>1</sup> 16,852,676
無形固定資産	126,657	125,492
投資その他の資産		
その他	2,825,769	2,556,515
貸倒引当金	6,775	7,283
投資その他の資産合計	2,818,994	2,549,231
固定資産合計	19,695,462	19,527,401
資産合計	43,614,581	44,163,017
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	<sup>2</sup> 5,405,128	5,455,493
未払法人税等	6,561	19,138
賞与引当金	483,989	246,688
その他	1,680,285	1,894,455
流動負債合計	7,575,965	7,615,776
固定負債		
退職給付引当金	2,602,806	2,704,808
役員退職慰労引当金	333,799	329,527
その他	685,204	670,693
固定負債合計	3,621,810	3,705,028
負債合計	11,197,775	11,320,805

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年7月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,132,048	1,132,048
資本剰余金	763,500	763,500
利益剰余金	30,443,375	30,865,644
自己株式	389	389
株主資本合計	32,338,534	32,760,803
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	78,270	81,408
評価・換算差額等合計	78,270	81,408
純資産合計	32,416,805	32,842,212
負債純資産合計	43,614,581	44,163,017

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年8月1日 至平成20年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)
売上高	7,244,633	5,946,235
売上原価	5,951,623	4,955,968
売上総利益	1,293,009	990,267
販売費及び一般管理費	1,458,636	1,486,439
営業損失( )	165,627	496,172
営業外収益		
受取利息	21,335	10,893
受取配当金	96	90
作業くず売却益	47,809	22,711
助成金収入	-	34,271
雑収入	18,406	15,901
営業外収益合計	87,647	83,868
営業外費用		
支払利息	593	907
為替差損	6,527	39
雑損失	480	-
営業外費用合計	7,601	947
経常損失( )	85,580	413,250
特別利益		
保険解約返戻金	368,266	-
特別利益合計	368,266	-
特別損失		
減損損失	-	54,475
投資有価証券評価損	71,804	1,947
その他	2,159	220
特別損失合計	73,964	56,643
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	208,721	469,894
法人税、住民税及び事業税	280,940	3,140
法人税等調整額	138,359	194,143
法人税等合計	142,580	191,003
四半期純利益又は四半期純損失( )	66,141	278,891

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年8月1日 至平成20年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	208,721	469,894
減価償却費	271,109	156,877
減損損失	-	54,475
貸倒引当金の増減額( は減少)	3,931	3,543
賞与引当金の増減額( は減少)	220,485	237,300
退職給付引当金の増減額( は減少)	22,328	102,001
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	4,601	4,272
受取利息及び受取配当金	21,432	10,983
支払利息	593	907
保険解約損益( は益)	368,266	-
投資有価証券評価損益( は益)	71,804	1,947
売上債権の増減額( は増加)	1,006,424	213,869
たな卸資産の増減額( は増加)	191,694	102,029
仕入債務の増減額( は減少)	418,963	50,364
その他	200,076	112,385
小計	592,503	173,375
利息及び配当金の受取額	14,171	15,777
利息の支払額	593	907
事業構造改善費用の支払額	-	469,711
法人税等の支払額	448,241	6,463
営業活動によるキャッシュ・フロー	157,839	634,680
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	1,500,000
定期預金の払戻による収入	1,000,000	1,000,000
有形固定資産の取得による支出	352,122	43,853
保険積立金の解約による収入	740,082	-
その他	42,403	12,549
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,345,556	556,402
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	254,430	127,973
その他	-	310
財務活動によるキャッシュ・フロー	254,430	128,284
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	1,248,965	1,319,367
現金及び現金同等物の期首残高	10,158,434	8,522,332
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,407,399	7,202,965

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

	当第1四半期連結会計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)
1. 法人税等の算定方法	法人税、住民税及び事業税等の算定に関しては、連結子会社の税金費用が重要性に乏しいため、納付税額の算出にあたり加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する等一部簡便的な方法によっております。
2. 繰延税金資産の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年10月31日)	前連結会計年度末 (平成21年7月31日)				
<p>1 有形固定資産の減価償却累計額は、18,936,771千円です。</p> <p>2 四半期連結会計期間末日満期手形の処理 手形交換日をもって決済処理をしております。 なお、当第1四半期連結会計期間末日が、金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれておりません。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>受取手形</td> <td style="text-align: right;">276,547千円</td> </tr> <tr> <td>支払手形</td> <td style="text-align: right;">119,296千円</td> </tr> </table>	受取手形	276,547千円	支払手形	119,296千円	<p>1 有形固定資産の減価償却累計額は、19,072,120千円です。</p>
受取手形	276,547千円				
支払手形	119,296千円				

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年8月1日 至平成20年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)																														
<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>荷造運送費</td> <td style="text-align: right;">288,741千円</td> </tr> <tr> <td>従業員給与手当</td> <td style="text-align: right;">320,477千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">58,201千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">14,724千円</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">4,219千円</td> </tr> </table>	荷造運送費	288,741千円	従業員給与手当	320,477千円	賞与引当金繰入額	58,201千円	退職給付引当金繰入額	14,724千円	役員退職慰労引当金繰入額	4,219千円	<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>荷造運送費</td> <td style="text-align: right;">275,050千円</td> </tr> <tr> <td>従業員給与手当</td> <td style="text-align: right;">331,423千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">68,083千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">15,485千円</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">4,272千円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">3,920千円</td> </tr> </table> <p>2 減損損失 当第1四半期連結累計期間において、以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛知県 犬山市他</td> <td>オフィス家具 事業資産</td> <td>有形固定資産 「その他」</td> <td style="text-align: right;">54,475千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは資産を鋼製物置事業資産、オフィス家具事業資産及び遊休資産にグルーピングしております。この内オフィス家具事業資産については、予想を超える急激な市況の悪化に伴い、当第1四半期連結累計期間において、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当資産グループの回収可能価額は、零として評価しております。</p>	荷造運送費	275,050千円	従業員給与手当	331,423千円	賞与引当金繰入額	68,083千円	退職給付引当金繰入額	15,485千円	役員退職慰労引当金繰入額	4,272千円	貸倒引当金繰入額	3,920千円	場所	用途	種類	金額	愛知県 犬山市他	オフィス家具 事業資産	有形固定資産 「その他」	54,475千円
荷造運送費	288,741千円																														
従業員給与手当	320,477千円																														
賞与引当金繰入額	58,201千円																														
退職給付引当金繰入額	14,724千円																														
役員退職慰労引当金繰入額	4,219千円																														
荷造運送費	275,050千円																														
従業員給与手当	331,423千円																														
賞与引当金繰入額	68,083千円																														
退職給付引当金繰入額	15,485千円																														
役員退職慰労引当金繰入額	4,272千円																														
貸倒引当金繰入額	3,920千円																														
場所	用途	種類	金額																												
愛知県 犬山市他	オフィス家具 事業資産	有形固定資産 「その他」	54,475千円																												



(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年8月1日 至平成20年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年10月31日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年10月31日現在)
現金及び預金勘定 15,407,399千円	現金及び預金勘定 14,202,965千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預 金 4,000,000千円	有価証券勘定 500,000千円
現金及び現金同等物 11,407,399千円	預入期間が3ヶ月を超える定期預 金 7,500,000千円
	現金及び現金同等物 7,202,965千円

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成21年10月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年8月1日至平成21年10月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 17,922,429株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 227株

3. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年10月16日 定時株主総会	普通株式	143,377	8	平成21年7月31日	平成21年10月19日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年8月1日至平成20年10月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年8月1日至平成21年10月31日)

当企業集団の事業は、類似素材を対象として類似技術のもとに製品を製造・販売する単一業種の事業活動を営んでいるため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年8月1日至平成20年10月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年8月1日至平成21年10月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年8月1日至平成20年10月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年8月1日至平成21年10月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、その記載を省略しております。

(有価証券関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成21年10月31日)

前連結会計年度末に比べ著しい変動が認められないため、記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成21年10月31日)

当社及び連結子会社は、デリバティブ取引を全く利用していないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年10月31日)	前連結会計年度末 (平成21年7月31日)
1株当たり純資産額 1,808.75 円	1株当たり純資産額 1,832.49 円

2. 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年8月1日 至平成20年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)
1株当たり四半期純利益金額 3.69 円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純損失金額( ) 15.56 円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年8月1日 至平成20年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )		
四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	66,141	278,891
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	66,141	278,891
期中平均株式数(株)	17,922,202	17,922,202

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年12月15日

株式会社稲葉製作所  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 神谷 和彦 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 藤原 選 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社稲葉製作所の平成20年8月1日から平成21年7月31日までの連結会計年度の第1四半期連結累計期間（平成20年8月1日から平成20年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社稲葉製作所及び連結子会社の平成20年10月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年12月15日

株式会社稲葉製作所  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 神谷 和彦 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 藤原 選 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社稲葉製作所の平成21年8月1日から平成22年7月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成21年8月1日から平成21年10月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成21年8月1日から平成21年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社稲葉製作所及び連結子会社の平成21年10月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。